

会 報

T.U.W.V
O B 会

O B 会費 (第一勧銀 川崎支店
振込先 (東北大学 ワンダールフォーゲル O B 会
普通口座「370-1881604」

国体(山岳競技)に参加して

奥畑 清美 (15期)

一昨年の夏、私は約1ヵ月に渡りヨーロッパアルプスでの登山を試みた。後半の悪天のため、アイガーこそ無念の涙を飲んだもののマッターホルン、モンブラン等6峰のベテルートに登攀し帰国した。記録の整理を終え、次の目標はと見渡すと手近な所に国体があった。というのも、昨年の国体が地元栃木県で開催されたからだ。

以前の私は、国体の様な競技登山にはほとんど関心を示さなかったし、それどころかある種の嫌悪感さえ感じていた。アルピニズムの流れから言うと、どうしても異端の感がぬぐい切れなかったし、大体山登りは競争するものではないとの考えがあったからだ。ところが海外登山を終えてみると、今までの自分が有肘張った狭い考えをしている様に思われてきた。アルピニズムを追求するもの一つの山登りだし、競技登山も一つの山登りではないか。何も競技登山を自分の山登りのすべてにする訳ではないのだ。自分の山登りの1部分として経験してもよいのではないか。そんな思いで予選会に向かったのだ。

幸にしてその後2度の予選に勝ち抜き、栃木県代表として3名から成る成年男子チームの一員として国体に臨んだ。日光山系を会場に4日間に渡って行なわれた競技は、まずまずの天候に恵まれ、我々は県民の期待を背にそれまで貯えた技術、体力、知識のすべてを出し切った。初日から2日目に渡って行なわれ縦走競技では、体力、知識、観察力の点で他チームを大きく引き離し1位。スピードと技術を競う3日目の登攀競技(岩登り)では、精鋭神奈川に敗れ惜しくも2位に留まったが、最終日の踏査競技では体力、談話力に強みを発揮し1位を保った。かくして10月17日の表彰式では、我々は総合で全国優勝を果たし表彰台に立った。

国体を終えた今、以前のわだかまりはすっかり消え競技登山にもそれなりの意義を認めている。アルピニズムの実践においては、いかに人間の英知を働かせて

も不可抗力による悲劇がつきまとう。ならば、安全性を十分確保した上で持てる力のすべてを発揮する競技登山は、まさにスポーツの名に値するものだと思う。スポーツをする者の中で、およそ登山者程体力の劣る者はいないと言われて久しい。その点、筋力、持久力を高めるための科学的トレーニングが要求され、その上技術、知識の向上も厳しく求められてくる国体登山こそ、生半可のアルピニズムを標榜する登山よりは、どんなに意義ある行為であるか知れない。

ただ、以上の議論によっても競技登山が私にとって山登りの一部である事に変わりはない。それ故合宿の合間を縫って、一年以上も前からインドヒマラヤのクン(7077m)を目指して準備を進めてきた。しかしその仲間のうち6人は去年の暮、雪の谷川岳東尾根に消え、いまだ冷たい白魔の中に閉ざされている。丁度私が、ハネムーンを兼ね、エベレスト方面に2週間程トレッキングに出かける直前だった。その後の遠征計画は今の所ない。

==== OB 山行のお知らせ ====

吾妻連峰----- 数々の思い出のある吾妻連峰でOB山行を行ないます。東京近辺に住んでみると東北はやはりはるかな地(?)、なかなか足がとどきませんが今年には仙台に住んでいる人の参加も期待して吾妻にしました。

新年会では“平ヶ岳にしたい!”ということでしたが、中俣の林道が使用不可能ということで、やむをえず変更しました。

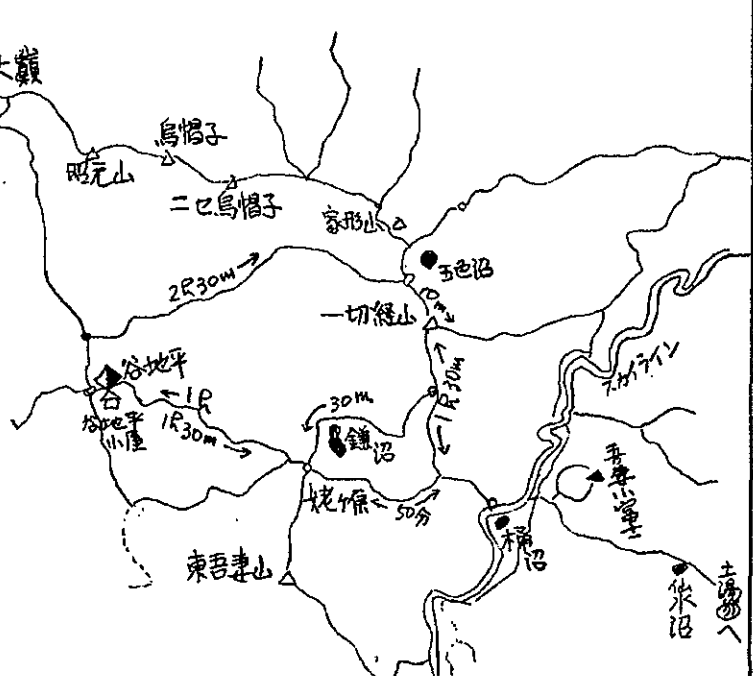
集中日： 8月8日(土) 東嶺

集中場所：吾妻，谷地平

装備、食糧：各自用意のこと

照会、連絡先：

佐藤 拓哉
(0468-41-8622)



去年のOB山行 (那須 三斗小屋)

今度も天候にめぐまれ、無事OB山行を終えました。集合場所は三斗小屋、古い温泉場でした。湯治客といっしょに風呂に入って、のんびりとした夜を過ごしました。集ったのは例のメンバーのみ、と思っていたら、奥畑君(15期)がスパンセ(今は奥さん)と友人を連れて来てくれました。思わぬ人、初めて会う人、なつかしい人、そんな人が参加してくれると非常にうれしい。参加したのは、小原会長(4期)とJr、宮下(8期)夫妻、伊藤健一と千代子夫妻(9期)とJr、桃谷(9期)とJr、石野(9期)、奥畑(15期)そして佐藤拓哉と良子夫妻(8期)とJr、今年も子供会の遠足という雰囲気ではありました。ただし、奥畑君は団体を南近にひかえ、トレーニングを兼ねて沢登りへ。

《昭和55年度決算》

収入

前年度繰越	481,984
利息	10,783
会費	62,000

計 554,767

支出

会報No.13	31,480
新年会補助	12,000
次年度繰越	511,287

計 554,767

(注) 新年会は毎年35~40人程度集っていますが、人数により多少会費が余ったり、不足したりしますが、余った時はOB会の収入とし、不足した時は補助していますので御了承下さい。

お知らせとお願い

- (1) 会報の存在価値は“近況報告”です。葉書で下記へ近況を(今回から全員へ葉書を同封するのは中止しました)。〒239 横須賀市馬堀海岸2-23-14 佐藤拓哉
- (2) OB会費は年間 1000円 です。会の口座へ直接振り込んで下さい。会費収入のほとんどが、新年会に出席した人から、というのは残念です。
- (3) 新しい名簿をお届けします。住所不明の人の住所を知っている方はお知らせ下さい。
- (4) 毎月第2火曜日に横浜駅東口スカビル地下“カマリ”に集っています。7時半頃から。
- (5) 新年会は毎年1月の最終土曜日18:30から新橋の^{ひがし}新橋亭^{しんきょうてい}で開く予定です。

今年の夏は不順な天候ですが、北海道では連日晴天にめぐまれ、数年来あこがれていた大雪山の夏山を楽しんできました。文明の利器を使用すると朝東京を立つ午後3時すぎには北海道の最高峰旭岳に到着できる今日存のす。よく日は白雲一忠別一ムサゴ沼のコースで雄大な展望をながめながら、コマクサ、キナシマツグ、コガクラ、シナガマヤツグ、ワタスゲ——と色とりどりの花々が次々に表れ、ここよい日は汗をふき消してくれす。
 次日トムラウシへ。雪溶けの池、日蓮、菫等の高山植物、果したく広がる原、360°の展望と、雲がたい気持でした。クマの出現に内心不安でしたがとまほり3242に会う程度でした。この十分満足でしたが、ついでに利尻山へ向い、四ノ池にかまいた山頂から夕日、朝日をながめて北海道の小旅行PART Iをホエてきました。元々なかけ今年のお山行には残念ながら参加できません。次の機会に、いざれ又。

三日月道夫 (8期)

8/8

新しい住まいは、山形側から笹谷峠へはいる。国道286号線沿いに東には雁戸をほしめとする蔵王の峰々。西には朝日連峰と、なつかしい山々に囲まれて暮らしております。
 笹谷峠、山岳と結ぶ新しいトンネルが3/20に開通する事になりました。また、私達の二口がかりろうとしております。
 私の方は、三才と六才の二つの子供を相手に、家事、育事に追われる毎日ですが、早く子供達と一緒に私の歩いた山をまた、歩きたいと、楽しみにしております。

伊藤利枝子 (13期)

50年に大学を卒業してから早くも5年半経過しました。札幌での3年間に、秋に1人で大雪山系に入ったり、5月の連休には友達と札幌近郊、空知岳〜札幌岳をスベーツをつけて歩いたりしました。それから1年に2〜3回の山行でした。53年10月から在職の間休日を2〜3日にあてました。その間、エロースン、ロックコウリン、グランドキオオンの3つの公園を訪ねましたが、規模の大きさ、自然保護の厳格、諸施設の管理・整備状況は実に目を見はるものがありました。エロースンには私の帰国直前の54年9月に、留学のためフォレストにたまたま野家夫妻(0046-0850)と会うことができました。先日野家夫妻からは帰国途中のウイーンからの絵葉書が送られてきました。マッターホルンの裾野をほんのちよと多々素敵たうたそうす。

〒223 横浜市港北区日吉本町1447 拓銀アパートA114
 名取 章 (0650, 14期) Tel 044-61-4021

昔日の旧友を想い出し、山への郷愁にかりたてられさうとしばし……
 山への憧れは、ワグネルと時とをわらわらむらむら慕う一方です。
 公私多忙の身の上げため山行もままならぬです。今年こそ、来年こそ思いながら歳月たゆかに2行きます。私は今、作並街道(国道48号)沿に東と小な楽局を開設しています。子供は、長男(5年)、長女(11.2)、二女(3年)です。
 OB山行 三斗小屋行に参加しついでにスギジュールとにらめこしめから思案中です。せひ、東北と北海道管内でOB山行の計画されるといいです。
 元々、又。 1980.7.31 青野登喜子 (45期)

(6)

8月のお盆に仙谷の墓まいりをし、
 真尾君とひしじりて会ってきました。
 その時我々7期生も卒業後10年以上も
 たつたので一度皆で会おうしなうかと
 云う事で金子君へも連絡をとりました。
 同期生の皆様にさうな連絡が行く
 事と思います。今から楽しみにして
 みます。 上田俊朗(7期)

テニス人口激増の折世の流行に葉
 るのもしかたがけれど運動不足解消と
 夫婦の親睦をかねてこの6月から2人で
 硬式テニスを始めました。腕の力ほと
 もかくとして家の階段の昇り降りが楽に
 なったところをみると足には効果がある
 ようです。さき男兵弘(9期)は今も野
 球狂時代。明けでも暮れでもボールヒ
 ヲグローブを手にして奮闘します。一方
 雪子の力(5期)は相変わらず「食い気専
 門外に興味なし」のちよと変った人
 生を送っています。 佐藤良子(8期)

住所変更のお知らせ

住みなれた上大岡の谷向も去り、旧練の
 ホッカの日のキスリングがよりもぐんと重い
 ローンも背負いながら根岸の高台に
 引越しました。

住所は下記の通りです。→ ^{住所録}を見よ!

丘の上の5階建マンションの最上階
 でのぞく眺望はバツグンです。

お近くにおいでの際は是非お立ち寄り下す。

鈴木元昭(11期)

昨55年3月に病を得て約2ヶ月半入院。
 治療の結果ほぼ通常の生活で1年が
 たちました。多少の症状は残っており
 ますが再発の様子は見られず一息
 ついております。入院以来ひとかた
 らぬ御配慮をたまり、誠に有難
 う御座居ました。今後も病などに
 負けぬよう頑張りますのでよろしく

覆 聡(8期)

今年はスキーによく行きました。正月は南蔵王、
 泉ヶ岳、網張、岩手高原へ、3月は宮城蔵
 王へ、そして5月は八幡平へせせと出かけ
 ました。モッコ岳の頂上から兵弘とスキー
 と3本のシュプールをえがいて藤七温泉へ、
 グレンテをとび出した春スキーは最高!

佐藤拓哉(8期)